

令和7年勝浦町マラソン議会（9月会議）会議録第5日目

1 招集年月日 令和7年9月18日

1 招集場所 勝浦町役場議場

1 開閉日時及び宣告

開議 9月18日 午前9時30分 議長 松田貴志

散会 9月18日 午前11時51分 議長 松田貴志

1 出席及び欠席議員

○出席議員（10名）

1番	内谷安宏	2番	福井裕美
3番	長尾隆資	4番	玉置守
5番	花房勝一	6番	瀬戸直一
7番	美馬友子	8番	松田貴志
9番	籾公一	10番	井出美智子

○欠席議員（0名）

1 会議録署名議員

4番 玉置守 9番 籾公一

1 地方自治法第121条第1項により説明のために出席した者の職及び氏名

町長	野上武典	副町長	海川好史
教育長	市川公雄	政策監	野上佳孝
総務防災課長	中瀬弘晴	企画交流課長	寺尾由美
税務課長	藤井小百合	住民課長	海川みゆき
福祉課長	長友清美	農業振興課長	西濱浩史
建設課長	上村和也	上下水道課長	大上誉司
会計管理者	正瑞美佳子	教育委員会事務局長	石木正昭
勝浦病院事務局長	笠木義弘		

1 職務のため出席した者の職氏名

事務局長 松本博文

1 議事日程（第5号）

開議宣言

日程第1 諸般の報告

日程第2 認定第1号 令和6年度勝浦町各会計歳入歳出決算の認定について

日程第3 議案第1号 令和7年度勝浦町一般会計補正予算（第4号）について

日程第4 議案第2号 令和7年度勝浦町介護保険特別会計補正予算（第1号）について

日程第5 議案第3号 損害賠償の額の決定について

日程第6 議案第4号 債権の放棄について

日程第7 同意第1号 勝浦町固定資産評価審査委員会委員の選任について

日程第8 同意第2号 勝浦町教育長の任命について

日程第9 諮問第1号 勝浦町人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて

日程第10 町民の声に対する質問

1 本日の会議に付した事件

日程第1から日程第10まで（第5号）

1 会議の経過

別紙のとおり

~~~~~

午前9時30分 開議

○議長（松田貴志君） ただいまから令和7年勝浦町マラソン議会9月会議を開きます。

本日の議事日程は、お手元へ配付のとおりでございます。

~~~~~

○議長（松田貴志君） 日程第1，諸般の報告を議題とします。

監査委員から、例月出納検査結果について報告書がお手元へ配付のとおり提出されておりますので、ご報告しておきます。

~~~~~

○議長（松田貴志君） 次に、日程第2，認定第1号，令和6年度勝浦町各会計歳入歳出決算の認定についてを議題とします。

これより第二読会を開きます。

それでは、これより総括質疑を行います。

認定第1号について質疑はありませんか。

福井議員。

○2番（福井裕美君） では、よろしく願いいたします。

先日の第一読会で、支払い遅延が53件あったということの報告がありまして、質問された議員もおったんですけれども、すいません、改めて最初にちょっと言わせていただきます。

今回の件については、職員個人の資質に起因する部分が大きかったとの説明もありまして、厳しい処分がなされたっていうのをお伺いしております。厳しい処分であったという内容もとても気になるころではあります。職員さんだけを処分で、だけで終わらせていいのかなどうかなっていうんを思うんですよ、私。職員を指導する、監督する立場にある管理職の責任もまた決して軽いものではないと私は考えております。組織としての信頼を回復するためには、管理職の皆様も何らかの形で責任を示される必要があるのではないのでしょうか。例えば、給与の一部を自主的に返上するなど、具体的な姿勢を示すことによって、町民への説明責任を果たすことにつながると私は考えております。また、このことについてコメントいただけたらと思います。

それでは、先ほどコピーして配っていただいたんですけど、第二読会の質問をさせ

ていただきます。

では、総務防災課。説明書5ページ、9ページの会議未開催はなぜでしょうか。必要なことではないでしょうか。

2つ目、説明書の6ページ、財政調整基金積立ての執行率が低いんですけども、もう全部100%積み立てたらいいのではないかなと思いました。このことについてコメントいただきたいです。2つ目ですね。

次、教育委員会のほうに質問です。

2つです。繰越事業が多かったんですけども、これらは絶対にやらなければならない事業なのでしょうか。繰越しになった中に不必要な事業はありますか。

2つ目、人権講演会や人形浄瑠璃フェスティバルなどの催しをしてくださっていますが、できるだけ多くの方に見てもらえるように、参観日や学校の集会と日程を合わせたらいいと考えます。とっても都合を合わせるってすごく難しいんですけども、私はそういうふうに思っております。その辺のお答えをいただきたいです。

そして、農業振興課のほうに1つ。

決算書6ページの収入未済額についてお答えください。

最後、建設課のほうに2つです。

説明書5ページ、7ページ、繰越事業として予算を前取り、財源確保のテクニックであると第一読会でお話しいただいたんですけども、繰越しを先延ばしするという事は財政が厳しいということでしょうか。基金や繰越金にプラスしていっているという解釈をされていてよろしいでしょうか。

2つ目です。説明書の6ページ、空家等対策協議会委員とは、この協議会の実態はどんな方がされてるんでしょうか。実態をお答えください。

以上です。

○議長（松田貴志君） 順番に。

中瀬総務防災課長。

○総務防災課長（中瀬弘晴君） 改めましておはようございます。

ご質問にお答えをしたいと思います。

まず初めに、説明書の会議未開催の理由でございますが、こちらのほうは個人情報保護委員会、それから水防委員会、それから防災委員会であったかと思えます。こち

らのほうの会議につきましては、会議の必要が生じたときに開催するというところでございますので、6年度については会議の必要がなかったものと思っております。

それから、財政調整基金の積立ての執行率についてでございますが、こちらのほうは財政調整基金、定期預金とかそういったものにしております、そういった調整基金の利息を積み立てるといふところの予算でございます、基本的には。そういったところで、利率のほうは上昇傾向にありましたので高く予算計上していたといふところで、実際の利率に応じて積立てをさせていただいたといふところの状況でございますので、そういったところでございます。よろしいでしょうか。

取りあえず、総務防災課の単独の分については以上でございます。

○議長（松田貴志君） 石木教育委員会事務局長。

○教育委員会事務局長（石木正昭君） おはようございます。

教育委員会、繰越事業が多いということで反省し、改めておわびを申し上げます。ただ、この繰越事業でございますが、いずれも必要な事業ということで予算を議会のほうにお認めいただいて執行していくということでございますので、 unnecessary 事業はございませんので、まず答弁とさせていただきます。

2点目でございますが、人権講演会や人形浄瑠璃フェスティバルの集客のお話だろうと思います。ご提言いただきまして、これまた相談しますが、なかなか私の感触としてはちょっと厳しいかなといふところはあるんですが、まず相談してみたいと思います。また、これに限らず集客、より多くの方に来場いただけるような工夫は、教育委員会でも考えていかなければいけないと思っております。

以上でございます。

○議長（松田貴志君） 西濱農業振興課長。

○農業振興課長（西濱浩史君） 質問にお答えさせていただきます。

農業振興課の収入未済額ということでの質問ではあるんですけど、こちらの歳入科目の13使用料及び手数料、1項の使用料につきましては、こちら町全体の使用料になっておりまして、農業振興課分の未済額につきましては261万円となっております。

○議長（松田貴志君） 中身分かるんだったら先言うといてあげてくれたらありがたいです。

○農業振興課長（西濱浩史君） 中身につきましては、牛舎の施設使用料といたしま

して176万6,000円、堆厩肥総合利用施設使用料が84万4,000円の計261万円となっております。

○議長（松田貴志君） 上村建設課長。

○建設課長（上村和也君） おはようございます。

福井議員からの質問ですが、繰越しについて先延ばしすることとは財政が厳しいのではという質問ですが、財政が厳しいのではなく、現年に予定しておる事業を補正で有利な国補の財源を使いまして、予算を前取りして、事前に予算を確保するということで、基金や繰越金にプラスっていうのは解釈からないですけど、特にここら辺はそっちにも問題ないと考えております。

それから、次の空家等対策協議会委員とはということで、空家等対策協議会はここ数年開催はしておりませんが、今年度空き家の実態調査を行い、空家等対策協議会を年末ぐらいをめどに開催する予定としております。

以上です。

○議長（松田貴志君） 福井議員。再問をお願いします。

○2番（福井裕美君） お答えいただきました。

では、すみません、さらにお伺いします。

収入未済額1,255万8,300円で、このうちの農業振興課が261万円だったということですね。これの全体の内訳を知りたいです。お答えいただきたいです。

それと、先ほど最初に申しましたが、管理職の方の責任問題。職員の資質の問題だけで済ませるのではないと思うんですよ。今の世の中、強く言うとパワハラとかすぐと言われるんで注意しにくいとかそういうんあると思うんですよ。道徳教育が抜かれてしまっているんで、資質の問題っていうか年々落ちてきよるなっていう、人のことは言えませんが私はそういうふうを感じるわけなんです。あわせて、管理職の方々もそういう学びも必要かなとも私は思っております。未払いの件について、未払いの、すみません、これ今朝出したばかりで、もうほんま慌てて申し訳なかったんですけども、その未払いの明細と町内の業者さんがどのくらいあったかとか、お幾らずつだったとか、内容とかっていうのもまたお答えいただきたいです。ちょっと間に合わなかったのであれですけど。

すみません、町長にお伺いします。

住民に分かりやすい形で管理職の方々，反省を示すべきと思います。いかが思われますか。お考えをお聞かせください。お願いします。

○議長（松田貴志君） 小休いたします。

午前9時44分 休憩

午前9時45分 再開

○議長（松田貴志君） 再開いたします。

中瀬総務防災課長。

○総務防災課長（中瀬弘晴君） 使用料の未収入の明細ってということでよろしかったですね。15ページが開いていると思います。こちらのほうが使用料の明細のほうになります。一番右側の備考欄の手前のほうに収入未済額がございます。こちらのほうが使用料の未済額でございます。先ほど農業振興課長がお答えした財産使用料の261万円につきましては，農業振興課長のご説明のとおりです。それから，残りの分につきましては，そちらの上のほうの部分になろうかと思えます。土木使用料，こちらのほうで現年度住宅使用料につきまして964万3,400円，それから滞納分の住宅使用料につきまして68万8,600円というところの収入未済額。すいません逆ですかね，すいません逆でした。現年度のほうが69万8,300円，それから滞納分につきましては923万3,000円となっております。すいません，申し訳ありません，収入済額を読み上げておりました。そういったところでご理解をいただけたらと思っております。

以上でございます。

○議長（松田貴志君） 野上町長。

○町長（野上武典君） 改めましておはようございます。

今2番議員からの支払い遅延等職員の誤った処理への対応ということでございます。

第一読会の中でお話もさせていただいたんですが，あまりにもこの処理が多いよう，また続くようであれば，この支払い遅延というだけでなくほかの事務処理につきましても重ねて検討した結果，職員を処分したというような事例もありますし，場合によったら，それに付随して担当課長への口頭の処分とか，以前には，職員が起こしたミス範囲によって変わってはくるんですが，減額処分というようなこともしましたし，私もそういうことで，それは職員が非常に重大な事務処理を怠ったというよう

なこともあったんで、自分の減給処分をしたというような例もあります。今までのいろんな事例に照らし合わせて、その都度その案件に応じてそういった処分を行っておりますので、ご理解をいただけたらというふうに思います。

以上でございます。

○議長（松田貴志君） 小休いたします。

午前9時49分 休憩

午前9時51分 再開

○議長（松田貴志君） 再開いたします。

ほかに質疑はありませんか。

美馬議員。

○7番（美馬友子君） 認定第1号、決算書について質疑を行います。

一般会計、福祉課のファミリーサポート利用促進事業補助金についてと、病後児保育広域利用推進事業負担金についてを問います。もうこれは小さな予算ではありますが、大事な支援対策事業なので聞きたいと思います。

昨日の新聞記事にもありましたが、勝浦町では令和6年1月から仕事と育児の両立のための環境整備として、子育て世帯への経済負担を軽減する事業として、ファミリーサポートを利用する会員は1時間700円必要だったところを500円に、そして子育ての支援者に対する報酬の補助として1時間700円を900円にするといった補助事業が始まったわけですが、1か月3,250円の予算見込みでしたが、6年度の決算では事務委託料は6万7,000円と利用促進費9,500円、不用額4万1,500円、執行率18.63%でした。5年度の利用件数と6年度の利用件数、また利用促進できていたのかどうかを伺いたいと思います。

それから、広域の病後児保育ですが、勝浦町は徳島市や小松島市、または石井町のクリニックさんに病気の回復時の子供預かってもらうことができますが、6年度の決算で広域利用負担額41万4,096円、執行率96.30%ですが、どれぐらいの方が利用できているのか。

以上2点、よろしくお願ひしたいと思います。

○議長（松田貴志君） 長友福祉課長。

○福祉課長（長友清美君） おはようございます。

ファミサポの利用実績でございますが、令和5年度が延べ17人の利用がありました。令和6年度の実績が延べ20人の実績がございました。また、病後児保育のほうでございますが、6年度は延べ12人の実績がございました。

以上でございます。

○議長（松田貴志君） 美馬議員。

○7番（美馬友子君） ファミリーサポート利用者は延べ17人、去年、ほんで5年度。それから6年度が20人。補助はして、利用者は少し増えているかなっていう感じでございますが、病後児も利用者12人とすごくもう本当に助かっている事業でございます。でも、広域なんで本当は使いにくいんかなと思います。また、勝浦町の支援員さんが少ないために利用が少ないのか、その点もお聞きしたい。

それから、予算執行のときに聞いたかも分かりませんが、その見込み数の計算数はどれぐらいだったのか、それぐらいを促進してほしいという思いで聞きたいと思います。共働き家族が増えて、私たち祖父母も仕事をしている時代でございます。また、町内ではひとり親家庭も増えている中ですので、この事業をますます促進させてほしいと思っています。

昨日の新聞記事ですが、もう本当に一番近かった小松島市の唯一の病後児保育が今年の3月で事業を休止していたこと、私もここで初めて知りました。このことは福祉課もご存じと思いますが、以前に預けた方とか、12人は利用していたということですが、利用できる保護者全員の方に連絡は済んでいるのでしょうか。また、ファミリーサポートでも病後児も利用できるようになっているようですので、そのことも再度お知らせなどしてほしいと思います。

何度も要望しているように、広域でなく勝浦町的な子供の見守りとか、預かりの支援活動ができるようになればと思っています。議会でも今回、田舎子育てナンバーワンの飯南町に視察予定ですので、しっかりと利用しやすい工夫などを私たちも学んでいきたいと思っています。

福祉課は、これは報告だけですが、6年度のマネジメントシートは各課合わせて99枚のうち補正も含めて26枚、決算では総数52枚のうち8枚のマネジメントシートでの事業報告がなされていまして。監査では、休暇以外での注意は行ったことがありません。専門職がいて頑張られている課ではあると思っています。マネジメントシート

の活用は、令和3年9月から始まったこととございます。第一読会にも申し上げましたが、改善を重ねて、本当に分かりやすいものにしていただきたいと思います。

質疑に戻りますが、分かれば支援員さんの数と見込み数、それから利用促進やお知らせについて、よろしくお願ひしたいと思ひます。

○議長（松田貴志君） 長友福祉課長。

○福祉課長（長友清美君） ファミサポの提供会員でございますが、6年度の実績としましては、勝浦町の方が1名で徳島市の方が1名という実績がございました。登録して方につきましては14名おいでます。

また、予算の取り方としましては、4,250円の12か月分ということで予算計上しておりますが、1時間当たり200円という補助がございまして、1人が何時間も使うこともありますので一概に何人って言うことはちょっと難しいんですが、おおよそ43名分というところで見込んでおります。

また、病後児保育等個別のお知らせというような質問でございましたが、個々には、すみませんがお知らせ等はできておりません。各保育園のほうには、チラシを配りまして周知をした経緯がございまして。

以上でございます。

○議長（松田貴志君） ほかに質疑はありませんか。

花房議員。

○5番（花房勝一君） 認定第1号、令和6年度一般会計歳入歳出決算について質問させていただきます。

まずは住民課、令和6年度の予算、令和5年度に引き続きパッカー車の修理代が、私から見るとかなり多額な修理費用がかかりました。また、この10月より新たな委託先に委託されるということで、第一読会の質疑の中ではパッカー車もう一台検討するという答弁でありました。この具体的な時期は決まってるのかどうか、お願ひいたします。

続きまして、もう一点。住民課です。小松島市と進めるごみ処理計画、会議には勝浦町からは参加していないとの答弁でございましたが、進捗状況などは随時報告を受けているのか、また意見の言える状況ではないのかもしれませんが、阿波市で起きた広域ごみが破綻になるようなことのないように、随時情報の共有をしていただきたいと思います。

と思っております。この点について質問いたします。

続きまして、福祉課。これも第一読会で聞かせていただいて聞き漏れておりましたが、要支援者個別避難計画の令和6年度の実績をお願いいたします。

そしてまた、これは福祉課と総務防災課両方にまたがる質問でございますが、勝浦町の地域防災計画の中には、避難行動要支援者に関する情報の把握、共有、町は福祉担当部局と連携の下、避難行動要支援者を適切に避難誘導し安否確認を行うため、民生委員、児童委員、自主防災組織等の協力を得ながら、平常時より避難行動要支援者に関する情報を把握、共有し、避難行動要支援者名簿の作成に努めるとございます。ここら辺のこの防災計画のことを考えますと、福祉課と総務課が連携し、防災訓練時には要支援者の援助体制を含めた訓練をすべきと考えます。福祉課、総務防災課と連携して協力体制はできるのかどうか、よろしく願いいたします。

○議長（松田貴志君） 海川住民課長。

○住民課長（海川みゆき君） パッカー車の購入に関するご質問です。

今パッカー車なんですけれども、新車を購入する場合につきましては、近隣の市では2年程度かかっているという情報をいただいております。今後、新車を購入するのか、中古車を購入するのも含めて、新年度予算要求に向けて検討していきたいと考えております。

もう一点目、小松島市との情報の関係でございますが、小松島市さんからは進捗状況につきましてはその都度情報のほうをいただいております。今後も連絡を密にして進めてまいりたいと思っております。

以上でございます。

○議長（松田貴志君） 長友福祉課長。

○福祉課長（長友清美君） 個別避難計画の実績は、令和6年度は新規に8件ございました。令和4年度から延べ87件の作成となっております。

また、総務防災課と連携ということでございますが、個別避難計画を基に、実際に避難できるかといった訓練が必要だということは認識しております。今後も総務防災課と連携し、訓練ができるよう協力を求めていきたいと考えております。

以上でございます。

○議長（松田貴志君） 中瀬総務防災課長。

○総務防災課長（中瀬弘晴君） ご質問にお答えをさせていただきます。

防災計画の中におきまして、議員ご指摘のように、要避難支援者の行動について避難の規定がございます。そういったところを福祉課が作成をしております個別避難計画を基に今後連携し、訓練ができるように努めてまいりたいというふうに考えております。

以上でございます。

○議長（松田貴志君） 花房議員。

○5番（花房勝一君） はい、まずはパッカー車に関しては、来年度に中古なりを検討していただくということでございます。今使っている車はもう10年以上たっており、ほぼ毎日使う車なんで、また次いつ壊れるかかなり心配がございます。新車を頼むと約2年近くかかるということなので、できるだけ早い方向でいい方法を考えていただいて、検討していきたいと思っております。よろしく申し上げます。

また続きまして、小松島市との連携のごみの件ですが、勝浦町もしっかり費用を負担していくわけなので、経過報告はしっかり行っていただき、私たち議員にも共有していただきたいと思いますので、よろしく申し上げます。

あと、福祉課、総務防災課です。やはりこの情報を共有して訓練することによって、地域での防災意識の高まりや要支援者の援助体制についての知識がない人も知ることができると思っておりますので、そのことが、訓練をすることによって、要支援者個別避難計画のさらに進んだ作成にもつながると考えておりますので、また先ほど両課長が申されたように、連携を取ってしっかりとした訓練を行うようによろしく願いいたします。答弁は結構です。

○議長（松田貴志君） ほかに質疑はありませんか。

瀬戸議員。

○6番（瀬戸直一君） お尋ねします。

まず1点目は、農業振興課の分です。

穀物乾燥機購入事業で429万円、これ農家さんにしたら大変ありがたいことなんです。指定管理者がアグリネットさんですね。この穀物乾燥機の軽微な修理とかはどうされているのでしょうか。

ほれが1点と、あと教育委員会にお尋ねします。

横瀬小学校の高圧受電設備の改修工事の不用額が429万円。第一読会で、設計業務されよう設備設計さんが見つからなかったっていう話なんですけど、ほの点もう一回お聞きしたいと思います。

それと、教育委員会さんの不用額が多いんですよ。あっち見ても、こっち見ても。ほなけん、これはどういうことなんかお尋ねします。

以上です。

○議長（松田貴志君） 西濱農業振興課長。

○農業振興課長（西濱浩史君） はい、ライスセンターにおける管理の質問かと思えます。ライスセンターの建物及び設備の劣化や損傷部分、あるいは機器の性能または機能を現状あるいは実務上支障のない範囲まで回復させることといたしまして、修繕費につきましては、10万円未満は指定管理者が行うこととなっております。1件10万円以上の修繕改修工事は、町のほうで行うことといたしております。また、備品におきましては、町のほうで配置しておりますが、備品の維持管理につきましては、管理者のほうで責任を持って対応してもらおうというふうなこととなっております。

以上です。

○議長（松田貴志君） 石木教育委員会事務局長。

○教育委員会事務局長（石木正昭君） 今回繰越事業となりました横瀬小学校の高圧設備の更新事業でございます。今こちらのほう繰越事業ということで事業のほうに取り組んでおりますが、私が第一読会でなかなかほの設計、電気屋さんのほう、こちらのほうがまずほかの自治体でも進んでいますが体育館の空調設置、こちらのほうを進める関係でどちらの業者さんも忙しいということで、なかなか話、相談に乗ってもらえない状況というところがございます。

なお、こちらの高圧設備の更新事業でございますが、電気の点検をしてもらっとる保安協会、また町内の電気工事屋さん、いろいろお話を情報収集しながら取り組んでいるところがございます。ただどちらの方についても、さっき言いましたけど、電気関係の方平均忙しいというところで、状況ということはそういうところとなっております。

もう一点の不用額が大きいという点でございます。こちら第一読会でもちょっとご指摘いただきましたが、教育委員会はかなり繰越事業が多い、プラス点検とか修繕、

こちらのほうも事業がなかなか進まなかったというところに加えて、年度末最終の補正予算、こういったところでも十分な確認ができてなかったということが、この結果になったものと考えております。改めてお詫びを申し上げます。

以上でございます。

○議長（松田貴志君） 瀬戸議員。

○6番（瀬戸直一君） そしたら、この横瀬小学校の件は業者がいないと、探している最中だということですが、でけたら紹介しましょうか。

それと、この不用額が多いっていうんで、横瀬小学校の件なんやけど、これたちまちは停電しないんですか。そんな急迫ったような案件ではないということなんですか。

ほれと、不用額多いっていうんは、もういろんなあれがあるんですが、プールのろ過ポンプがめげとんのに直してないとか、修理せないかんのに直してないとかいろいろありますけども、どうでしょうか。

○議長（松田貴志君） 瀬戸議員。農業振興課はいいん。

○6番（瀬戸直一君） 農業振興課はいい。もう分かりました。結構です。

○議長（松田貴志君） 分かりました。

石木教育委員会事務局長。

○教育委員会事務局長（石木正昭君） 私の頭の片隅にはありましたが、高圧の件ですが、こういった状況でございますので、また議員さんの力もぜひいただければと考えております。

なお、不用額のほうで修繕、こちらのほうで直せてないものがあるということで、今となってはもうできるだけ早急に対応していくと言うしかもう言えないかなと思っております。ぜひ頑張っていきますので、またご支援のほうよろしく願いいたします。

以上でございます。

○議長（松田貴志君） ほかに質疑はありませんか。

玉置議員。

○4番（玉置 守君） 第一読会するときにも質問をさせていただきました、総務防災課の500時間、それから教育委員会の300時間っていうような偏った方が残業なり、時

間外をやっているというようなことですが、昨年度においては消防の操法大会があったというふうなことで、非常に1人に重責を負わせたのでなかろうかと。やっぱり課全体ですとか、助け合いするような形で、その1人にかかる負担を減らしていただけるってというようなことを考えていただきたいというふうに思っています。総務防災課、それから教育委員会あたりが特に突出したような時間外になっているというふうなことで、対策を考えて、再発防止に向けた形の取組をどういうふうに考えているかっていうふうなことをお願いしたいと思います。その点、取りあえずお願いいたします。

○議長（松田貴志君） 中瀬総務防災課長。

○総務防災課長（中瀬弘晴君） 時間外の平準化等につきましては、以前から取り組んでいるところではございます。昨年度につきましては、第一読会でもご説明申し上げたとおり、特殊事情で増えたものというところではございます。こちらのほう、平準化を図りながらしていくように努めていたところではございますが、やはり担当のところでもどうしてもしなければならないというところがございましたので、増えたというところではございます。今後につきましては、業務の平準化等に努めてまいりたいというふうには思っております。

以上でございます。

○議長（松田貴志君） 石木教育委員会事務局長。

○教育委員会事務局長（石木正昭君） 時間外縮減、また平準化ということで、教育委員会のほう2年連続平準化のほうにつきましてご指摘をいただいたところでございます。

令和6年度ですが、第一読会でもありましたが、年明けに休職者、特に増えまして、実働の職員がまず少なくなったという事情もありましたし、また新規の事業、婚活ということで、新規ということでなかなかやっぱり担当に集中するとか、そういったところもございました。ただ、私も平準化ということで心がけてきまして、例えば教育委員会、イベントとか大分多いんですが、それも分担するような格好でバランスを考えてきましたし、またこの平準化という点につきましては、年度初めの事務分掌、担当を決めるとき、こういったときにもやっぱりこういった点も確認、気をつけなければいけないかなというふうに思っております。なかなか特効薬っていうものは

見いだせないところがございますが、こういったところは管理者である私も気をつけて時間外勤務の縮減、また平準化に今後とも取り組んでいきたいと考えております。

以上でございます。

○議長（松田貴志君） 玉置議員。

○4番（玉置 守君） 行政については、住民福祉向上のために、意識と使命感を持った中で業務に当たっていただきたいと思います。今取りあえず2つの課なり委員会なりのほうからの答弁がございました。やっぱり平準化っていうようなこと、また一人の人に重責がかからないような形の分担体制、そういうようなこともお話をされて、次の7年度についてはそういうふうなことがないような形でのお願いをしておきたいというふうに思っております。

また、職員一人一人の意識を高めていただきたいと思ひますし、本当に今言いよった過剰になっていないかっていうのも管理職サイドでも課員を見ながらしていただきたいたいというふうに思ひていますし、各課体制の助け合い、そういうようなことにも配慮をしていただきたい。また、一人の方に重責になりますと、また体とかにも負担がかかるというふうなことで、メンタルケア等の健康管理、それから職場環境、そういうなんも重視しながらお願いしたいし、また人事異動、配転等の機構改革的な配慮もしながら、事務の効率化っていうんを図っていただきたいたいと思ひます。町長も昨日の新聞にも載ってございましたけども、3期目を目指すというふうなことで、それは非常に私たちも心強いというふうに思ひておりますので、この勝浦町がより飛躍するような形でのことをお願いしておきたいと思ひます。今申した質問も含めて、町長のほうから再発防止なり、来年度に向かつて、6年度を台にして7年度っていうような形で答弁をいただきたいなというふうに思ひています。よろしくお願ひします。

○議長（松田貴志君） 野上町長。

○町長（野上武典君） 職員に時間外が偏って多い課職員とそうでない職員もいるというようなところがございます。今年度、町制70周年というのを迎え、今あさってに迫った記念式典等で忙しくなっておりますし、それに向けて各課の応援体制というのも組んだりしております。なるべく職員全体でかかっていくというふうなことで、大きなイベント、行事等については、今後もお願ひしようかなっていうふうには思ひま

す。

ただ、なかなかそれぞれの課で職員が病気休暇になったり、またいろんな休暇がございませぬ。そういった面で、急に自分とこの課員が人数が職員減ると、年度途中ではなかなかその体制を穴埋めするのも難しいというはあるんですが、できる限りそういった助け合いというのも考えながらやっていけたらというふうに思っておりますし、各課においては、課長がよく業務等を把握して、偏りのないような体制を組めていけるように、町長としても指導をしていきたいというふうに思っておりますので、またご理解、ご協力をお願いできればと思います。

以上でございます。

○議長（松田貴志君） ほかに質疑はありませんか。

井出議員。

○10番（井出美智子君） 第一読会でもお聞きしたのですが、もう少し踏み込んで確認をしていきたいと思ひます。

会計年度任用職員ですが、町長部局で30名、教育委員会で26名、病院で24名ということで、80名もの会計年度任用職員がおいでませぬ。この会計年度任用職員なしには町の行政が立ち行かない状況がございませぬ。先ほども4番議員とか質問されておりましたが、正規の職員に対する過剰な負担もございませぬ。やはり、町にとって職員は頼りになる存在ですし、勝浦町の財産です。そういう方が住民のために心置きなくしっかり働けるような採用が必要だと私は考えます。そこで、会計年度任用職員の中で、ぜひともこの方を正規の職員になってほしいという人をもっともっと町の正規職員に採用していただいて、活躍していただけるような枠が必要ではないかと考えますので、また町長のお考えをお聞きしたいと思ひます。

それから、リフォーム助成についてでございます。

毎年、町民に大歓迎されているリフォーム助成ですが、今年度は28の枠のところ、35件申込みがあり、32件の実施と報告されました。毎年ほぼ希望者が100%近く実施されているってことをいつも報告されておりましたが、今年3件が残ったっていうのは初めてでないかなっていう記憶がございませぬ。枠はオーバーしてもキャンセルが出たり、それから課内の予算の都合でほぼ全員の方がリフォーム助成を実施できたという実績があったかのように記憶しております。今年度3件の積み残しがあつたっ

ていうことについての説明と、その対応をどうされるのかを確認したいと思います。

それから、地籍調査の件ですが、これは高齢化で早くしてほしいという、まだ未実施の所が強い要望がございます。山間地の立ち入れないところしかドローンを利用しないので、基本は今までどおりのところですので、そんなに急いで実施はできないというような第一読会の答弁でございましたが、もう少しGPSを利用して測量できるドローンの精度は非常に正確で上がっておりますので、時代に即した地籍調査の方法を再検討できないかということで、重ねてお尋ねします。

その3点について答弁をお願いいたします。

○議長（松田貴志君） 上村建設課長。

○建設課長（上村和也君） リフォームの件になりますが、第一読会でもお答えしたとおり、今年度が、ほなけん6年度が32件の実施となりまして、当初抽せんで35件中28件の抽せん者がありまして、あとの32件の差額の4件分につきましては予算の、皆が皆満額でないとか、ほかの事業の利用できる分が出てきた分を合わせまして、最終32件で、3件分が対象外となっておるような状態でありました。全員にっていうのはやっぱり予算にも限りがありますので、抽せんという選択になると思いますので、今後も人気というか、このリフォームに対して要望があるのに予算内で対応ができるだけのことしかできんと思いますので、ほこら辺はご理解をお願いしたいと思います。

○議長（松田貴志君） 西濱農業振興課長。

○農業振興課長（西濱浩史君） 地籍調査に関する質問ではございますが、地籍調査は町内順次進めておりますが、また未実施の地区が半数近くあります。それで、地籍調査の制度上、なかなか町独自で新たな測量方法等を実施っていうのは難しいかと思えます。けど、全体的に調査の工法、いろいろ新しい分が導入されつつはありますが、まだそこまでは至っておりませんので、今後いろいろ国、県とも情報収集に努めまして、新調査方法等ありましたら検討していきたいと考えております。

以上です。

○議長（松田貴志君） いけます、町長。

野上町長。

○町長（野上武典君） 会計年度任用職員がかなり多くて、雇用する職員数を考えればいいんじゃないかというようなご質問かと思えます。

やはり、いろんな職場でやっていただいている業務っていうのも、それぞれ違うところもあります。また、その職場っていうのが、必ず同じようなところで続いていくかどうかっていうのが、確約っていうか確信できないというようなところがあって、会計年度任用職員でお願いできるならということで採用させていただいているというところもあります。

また、職員の採用試験においては、もし受けられる方がいるのであればというような案内をすることもあります。多くは会計年度任用職員で振られようところの方が職員採用に受けていただけるというのもそう多くはないというところもあります。そして、そういった努力はしているところなんです。また職員採用につきましても、少し人数を増やしてというようなところがありましたが、今まで、7年度は少し応募者が多くいるというように聞いておりますが、どうも今まで、6年度までは、募集しても公務員採用っていうのがどんどん減ってきていると、応募者が減ってきているというような県下レベル、全国レベルのところもありまして、本当に減ってきているっていうのが実情でした。何とか受けていただけるような職場というようにしていかないかとは思っております。そういったところから職員採用についてももう考えていかないかなのかなっていうふうには思っております。何分会計年度任用職員が今の数だけあるというのは、ちょっといびつになっているんじゃないかなというようにも考えながら、今後採用を考えていきたいと思っておりますので、またご指導等、よろしく申し上げます。

以上でございます。

○議長（松田貴志君） 井出議員。

○10番（井出美智子君） 職員の採用については、できるだけ個人的な希望ですが、地元の優秀な方を採用していける方策をみんなで考えていけたらと思います。勝浦町の未来をつくってってもらわなければならない大事な職員ですから、地元のことを真剣に考えて取り組んでいただける人が一人でも多く入っていただけたらと希望しておりますので、よろしくお願ひしたいと思ひます。

それから、リフォーム助成の件ですが、28件のところ、32件実施していただいたことには感謝しております。でも、この残りの3件の方も実施できたらもう本当によかったと思ひますので、枠を来年度は増やしていただけたらとこの決算で思ひましたの

で、検討をよろしく願いいたします。

それから、地籍調査の件ですが、勝浦町だけで調査方法を変えるのは難しいのであれば、国や県に対して強く要望を上げてほしいと思います。勝浦町がこういうふうにしてほしいという具体的な声を上げることが、今後国の地籍調査のスピードを上げていくことにつながるような対応を町としてもぜひ取っていただきたいと思いますのでお願いしたいと思います。国へぜひ強く要望を上げていただきたい。ほか、リフォーム助成は枠を広げていただきたい。それから、町の職員に関しては、地元の職員を大事に採用していける枠をつくってほしい。この3点をもう一度お尋ねして決算審査の質問とします。

○議長（松田貴志君） 上村建設課長。

○建設課長（上村和也君） リフォーム補助金の予算についてですが、今後検討していきたいと思います。

以上です。

○議長（松田貴志君） 西濱農業振興課長。

○農業振興課長（西濱浩史君） 担当者会並びに要望等ありましたらまた、県のほうを通じて国に要望するような形で努めさせていただきたいと考えております。

○議長（松田貴志君） 野上町長。

○町長（野上武典君） 職員採用に地元の子供たちや地元に住む人をというようなこととございます。私どももそう願っております。ぜひとも職員採用の応募ができるようなときがありましたら、周りにも声をかけていただき、その適用年齢の方がいらっしやったら、受けてみたらっていうようなことを声かけいただけたらと思います。何分勝浦町の職員採用に応募する方が、今までの例としたら半分いないときが多かったです。また、議員各位にもご協力をお願いできればと思います。

以上でございます。

○議長（松田貴志君） ほかに質疑はありませんか。

長尾議員。

○3番（長尾隆資君） 2点お伺いしたいと思います。

井出議員の関連であります地籍調査の件について、今日ちょっと朝のうちに西濱課長にはお伺いしたんですが、聞き漏らしておったことをちょっとお尋ねしたいと思

ます。

今現在、星谷地区が地籍調査をやってもらっておりまして、ほれで星谷の東側の行示地区も星谷の認定ということで、沼江字平間、通称行示地区っていうところもはめていただいております。ほれで、あと今後の後半の予定として、久国の1地区、坂本の8地区、4、5、6地区というふうに予定がございますが、来年度、令和8年度からは、与川内地区を調査するという計画になっております。そして、ほの後については、地籍調査は地域の要望の強いところからっていうようなことも聞いておりますが、ほの8年度以降、まだこれから計画していく分っていうのは、やはり地域の要望が強いところから優先的になさっていくんかっていうことをお聞きしたいと思います。

それと、もう一点、損害賠償の件で、大松町で職員の方が……。

○議長（松田貴志君） 長尾議員それは後の、まだ後になります。

○3番（長尾隆資君） 後。ほな、失礼しました。この件についてよろしくお願ひします。

○議長（松田貴志君） 西濱農業振興課長。

○農業振興課長（西濱浩史君） 地籍調査の件につきまして答弁させていただきます。

今現在、星谷地区を実施しておりまして、一応来年度からは与川内地区の調査に入る予定としております。その後におきましては、横瀬地区を実施することは決定しておりまして、その後につきましては横瀬地区の調査の状況によりまして、そのときに新たに要望をお聞きするというようなこととしております。

以上です。

○議長（松田貴志君） 長尾議員。

○3番（長尾隆資君） 分かりました。ほしたら、横瀬地区のその後はまだ未定というようなことなんで、先ほどお聞きしました、要望を強く出せば次の候補地の選定に参考になるんでしょうか。この件、ほなお願いいたします。

○議長（松田貴志君） 西濱農業振興課長。

○農業振興課長（西濱浩史君） 地籍調査の地区決定につきましては、地元組織の整備状況並びに要望等も含めて検討材料とはさせていただきますが、やっぱり地

元として組織体制が十分整えられる状況であるかというのが非常に大事かと思っております。

○議長（松田貴志君） ほかに質疑はありませんか。いけますか。

（「なし」の声あり）

○議長（松田貴志君） それでは、以上で総括質疑を終了いたします。

議事の都合により、休憩とします。

午前10時38分 休憩

午前11時09分 再開

○議長（松田貴志君） 再開いたします。

休憩前に引き続き会議を開きます。

お諮りいたします。

本件を第三読会に付すことにご異議ありませんか。

（「異議なし」の声あり）

○議長（松田貴志君） 異議なしと認めます。本件は第三読会に付すことに決定いたします。

これより第三読会を開きます。

認定第1号について、討論と採決を行います。

討論はありませんか。

福井議員。

○2番（福井裕美君） 反対討論させていただきます。

予算も執行されてお金も使ってしまったというのとは分かりますが、やはり支払い遅延の多いこと、繰越事業の多いこと、やはり納得、すぐにはいと言い難いところがあります。支払い未払い、支払い遅延が令和5年度では17件、令和6年度では53件と2倍以上に増えております。該当職員についても処分が行われたということはお聞きしておりますが、職員の資質だけ問題があったということで片づけてしまっはいけないと思います。やはり組織全体のことの改善策と、そして管理職の方の責任の取り方を見せていただいて、それからの賛成というか認定なら私は納得するんですけども、その辺りを私は求めております。ただの職員だけを処分してよいのでしょうか。管理職にも責任があると思います。組織全体の信頼回復のために、そういうお示

しいたいて、給与の自主返上など見える形で責任を示されて、こういう改善をしていきますというのを見せていただいてからの認定にっていうので私は思います。

どうか皆さん賛同していただきたいと思います。このくらい議員が言わないと笑われます。私はそう思います。もう使ってしまったからしょうがないじゃないじゃないんですよ。分かっただけですけども。これくらい議員が言わなければ笑われます。

以上です。よろしくお願いいたします。

○議長（松田貴志君） 賛成討論はありませんか。いけますか。

（「なし」の声あり）

○議長（松田貴志君） 討論なしと認めます。

これより採決を行います。

この採決は起立によって行います。

本件を原案のとおり決定することに賛成の方はご起立願います。

（賛成者起立）

○議長（松田貴志君） 賛成者多数と認めます。したがって、認定第1号、令和6年度勝浦町各会計歳入歳出決算の認定については原案のとおり可決いたしました。

~~~~~

○議長（松田貴志君） 次に、日程第3、議案第1号、令和7年度勝浦町一般会計補正予算（第4号）についてから日程第6、議案第4号、債権の放棄についてまでを一括して議題とします。

これにご異議ございませんか。

（「異議なし」の声あり）

○議長（松田貴志君） 異議ありませんので、そのように決定いたします。

これより第二読会を開きます。

それでは、これより総括質疑を行います。

議案第1号について質疑はありませんか。一般会計補正予算です。質疑はありませんか。いけますか。

（「なし」の声あり）

○議長（松田貴志君） 質疑なしと認めます。

続いて、議案第2号について質疑はありませんか。介護保険の件の補正予算です。

(「なし」の声あり)

○議長(松田貴志君) 質疑なしと認めます。

続いて、議案第3号について質疑はありませんか。

長尾議員。

○3番(長尾隆資君) 先ほど第二読会で勇み足で失礼いたしました。

損害賠償額の決定について142万9,500円、これが払われておりますが、保険会社から当然この保障が払われた同額の金額は、保険会社から町のほうに支払いされると思っています。このこと、素朴な質問なんですけど、この入ってきたお金っていうのは来年に収入があったというようなことになるんでしょうか、お尋ねします。

○議長(松田貴志君) 正瑞会計管理者。

○会計管理者(正瑞美佳子君) すいません。こちら142万9,500円は相手方のほうに支払われる額であって、町のほうには収入としては入ってきません。

以上です。

○議長(松田貴志君) ほなけん、保険会社からくるほうがどの段階で入って、どう処理されるかっていうのを聞いて。

○会計管理者(正瑞美佳子君) すみません、この金額は保険会社から相手方のほうに議決いただきましたら支払われるような形になります。

○議長(松田貴志君) 長尾議員。

○3番(長尾隆資君) 何となく分かるんですけど、ほなこの142万9,500円っていうのは、一旦町から被害者のほうに支払いをしとるというのではなく、保険会社から払われたということで、ほな町にとっては実質損害といいますか、そういうのは支払いはなかったということなんですね。

○議長(松田貴志君) 正瑞会計管理者。

○会計管理者(正瑞美佳子君) 勝浦町のほうからこれをお支払いしたということではございません。

○議長(松田貴志君) ほかに質疑はありませんか。

(「なし」の声あり)

○議長(松田貴志君) 質疑なしと認めます。

続いて、議案第4号について質疑はありませんか。債権の放棄についてです。質疑

はありませんか。

(「なし」の声あり)

○議長(松田貴志君) 質疑なしと認めます。

以上で総括質疑を終了いたします。

お諮りいたします。

本件を第三読会に付すことにご異議ありませんか。

(「異議なし」の声あり)

○議長(松田貴志君) 異議ありませんので、本件は第三読会に付すことに決定いたします。

議案第1号から議案第4号までを討論を省略し、一括して採決を行うことにご異議ありませんか。

(「異議なし」の声あり)

○議長(松田貴志君) 異議ありませんので、議案第1号から議案第4号までを一括して採決を行うことに決定いたします。

これより第三読会を開きます。

これより採決を行います。

この採決は起立によって行います。

本件を原案のとおり決定することに賛成の方はご起立願います。

(賛成者起立)

○議長(松田貴志君) 賛成者多数と認めます。したがって、議案第1号、令和7年度勝浦町一般会計補正予算(第4号)についてから議案第4号、債権の放棄についてまでは原案のとおり可決いたしました。

議事の都合により、休憩とします。

午前11時20分 休憩

午前11時21分 再開

○議長(松田貴志君) 休憩前に引き続き会議を開きます。

~~~~~

○議長(松田貴志君) 次に、本日追加提案されました日程第7から日程第9について。

まず、日程第7、同意第1号、勝浦町固定資産評価審査委員会委員の選任について及び日程第8、同意第2号、勝浦町教育長の任命についてを一括して議題とします。

これより第一読会を開きます。

野上町長から本件の趣旨説明を求めます。

野上町長。

○町長（野上武典君） それでは、本日追加提案をさせていただきました議案の提案説明をさせていただきます。

同意第1号、勝浦町固定資産評価審査委員会委員の選任についてであります。

次の者を勝浦町固定資産評価審査委員会委員に選任したいので、地方税法第423条第3項の規定により、議会の同意を求めるものでございます。

住所は、勝浦町大字生名字神ノ木1番地1、氏名、山本達夫、生年月日、昭和25年5月7日でございます。

続きまして、同意第2号、勝浦町教育長の任命についてであります。

次の者を勝浦町教育長に任命したいので、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第4条第1項の規定により、議会の同意を求めるものでございます。

住所は、勝浦町大字沼江字山路163番地1、氏名は大久保康雄、生年月日、昭和34年8月11日でございます。

以上、ご審議の上、ご同意くださいますようお願い申し上げ、提案理由の説明とさせていただきます。どうかよろしくお願ひします。

○議長（松田貴志君） 町長の説明は終わりました。

お諮りいたします。

本件については、従来の慣例に従い、第二読会を省略し、直ちに第三読会において採決することにしたいと思いますが、ご異議ありませんか。

（「異議なし」の声あり）

○議長（松田貴志君） 異議なしと認めます。本件は第三読会に付することに決定いたします。

これより第三読会を開きます。

この採決は起立によって採決を行います。

本件について原案のとおり決定することに賛成の方はご起立願ひます。

(賛成者起立)

○議長（松田貴志君） 賛成者多数と認めます。したがって、同意第1号、勝浦町固定資産評価審査委員会委員の選任についてと同意第2号、勝浦町教育長の任命については原案のとおり同意されました。

議事の都合により、休憩とします。

午前11時24分 休憩

午前11時25分 再開

○議長（松田貴志君） 休憩前に引き続いて会議を開きます。

~~~~~

○議長（松田貴志君） 日程第9、諮問第1号、勝浦町人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについてを議題とします。

これより第一読会を開きます。

野上町長から本件の趣旨説明を求めます。

野上町長。

○町長（野上武典君） 諮問第1号、勝浦町人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについてであります。

次の2名を勝浦町人権擁護委員として推薦したいので、人権擁護委員法第6条第3項の規定により議会の意見を求めるものでございます。

1人目は、住所、勝浦町大字三溪字檉淵78番地2、氏名、前田泰子、生年月日、昭和29年12月12日でございます。

2人目は、住所、勝浦町大字生名字大前75番地2の2、氏名は大西博己、生年月日、昭和31年6月25日でございます。

以上、ご審議の上、ご同意くださいますようお願い申し上げ、提案理由の説明とさせていただきます。どうかよろしくお願ひします。

○議長（松田貴志君） 町長の説明は終わりました。

お諮りいたします。

本件については、従来の慣例に従い、第二読会を省略し、直ちに第三読会において採決することにしたいと思ひますが、ご異議ありませんか。

(「異議なし」の声あり)

○議長（松田貴志君） 異議なしと認めます。本件は第三読会に付することに決定いたします。

これより第三読会を開きます。

この採決は起立によって採決を行います。

本件について原案のとおり決定することに賛成の方はご起立願います。

（賛成者起立）

○議長（松田貴志君） 賛成者多数と認めます。したがって、諮問第1号、勝浦町人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについては諮問のとおり答申することに決定しました。

~~~~~

○議長（松田貴志君） 次に、日程第10、町民の声に対する質問を行います。

7番美馬友子議員の質問を許可します。

美馬議員。

○7番（美馬友子君） 町民の声に対する質問を行います。

町長の任期満了時期が近づいてまいりました。町への思いを聞きたいと思います。

来年の1月に町長選挙の日程が決まりましたが、住民の方から町長はどうするんだろうか、町は誰に託したらいいのだろうかという声が何度も聞かれるようになってまいりました。昨日の新聞報道では意志が固まったとありましたが、今回の町長選に臨まれるのかどうかお聞きしたいと思います。

○議長（松田貴志君） 野上町長。

○町長（野上武典君） すいません、17日の徳島新聞の報道で今回の町民の声に先立ち周知されることとなってしまう、申し訳ございません。

平成30年2月に町長に就任して以来、2期8年を間もなく迎えようとしています。8年の間にコロナ禍や物価高騰など予期せぬ問題が発生しましたが、そのような中でもお約束した施策や事業について、一步一步ではありますが、着実に前に進んできたかと思えます。

しかし、現在勝浦町は、人口減少によるあらゆる分野での人材不足、少子化、高齢化による施設や組織のひずみ、地震や豪雨などの災害に強いまちづくり、物価高騰や農業をはじめとする地域経済対策など、多岐にわたる課題が山積しております。これ

らの課題に対して不退転の決意で取り組みたいと気持ちを新たにしましたので、3期目への出馬を今議会において表明いたします。勝浦町と町民のために誠心誠意、そして無我夢中でまちづくりに取り組んでまいりますので、議員各位におかれましては、引き続きご指導とご協力を重ねてお願い申し上げます。

○議長（松田貴志君） 美馬議員。

○7番（美馬友子君） 今町長から出馬表明がされました。次期の4年間、町のかじ取り役として頑張る意気込みがあると、私たちが今捉えました。町長が最近よく言っている災害からも生き残る100年続く町となるためにも、町民の皆さんの声をしっかり聞いてください。政治信条は、町民との対話っていうところから出発してると思っています。

選挙活動するにも、あと残り3か月と迫っております。8年前の初市長選では、町のこれからをどうしてもらいたいのか、町民の意識も高く、応援する側も力が入り、投票率も高かったことを記憶しております。2期8年で少しずつであるが前進してきたと町長は述べました。町はどう変わったのでしょうか。町も職員も居心地がいいと感じてもらえているのでしょうか。まずは、役場の組織内構築、職員の意識改革であると言われました。職員一人一人が少しずつ変われば、役場も変わると言われたことが住民サービスにつながっているのでしょうか。先ほども厳しい質疑もありました。子育て環境日本一を目指した取組の成果はどうでしょうか。勝浦町第六次総合計画も後期計画となりました。順調にマニフェストは解決できているのか。町民はスピードと結果を求めているはずですが。野上カラーは何なのでしょう。町長の執行してきた、伝えてきた成果と評価や課題は、先ほどもおっしゃいましたが、具体的に何々か伺いたいと思います。

○議長（松田貴志君） 野上町長。

○町長（野上武典君） ただいまありましたように、8年間での成果についてでございます。

コロナ禍、物価高騰対策など障害は多かったものの、臨時創生交付金などの支援もあり、職員とともに知恵を絞り、ピンチをチャンスに変えていくことができた事業も多くあります。公約にしていた子育て支援対策の拡充については、臨時創生交付金を活用し、医療費に続いて学校給食費の無料化や高校生の就学支援施策を始めることが

できました。学習環境では、GIGAスクール構想で1人1台のタブレット配備や空調設備、耐震化事業など着実に進めることができています。幼児教育についても、3歳児未満の保育料無料化を2歳児から順次進めてきましたが、県の今年の施策により、本年9月からゼロ歳児からの保育料を無償化にすることができました。

就任時から取り組んでいた新勝浦病院の改築事業は、令和4年度から新病院での診療を開始。令和5年度には周辺整備も整い、グランドオープンすることができました。勝浦病院改築に合わせて、旧コスモス跡地に地域活動支援センターサルビアを移転するとともに、特別養護老人ホーム喜楽苑を改築することとなり、医療・福祉・保健の一体的な整備を進めることができたと思っています。

農業振興では、特産品の熟成みかんブランド化で進めてきた統一段ボール箱がJAで利用されるなど、一定の成果がありました。徳島県の果汁研究所跡地を、かんきつテラス徳島としてかんきつに特化した試験研究施設として残せたことは、みかん栽培に大きな意義があると思っています。6次産業化、農産物をはじめとする町内加工品のブランド化についても、既存商品のブラッシュアップや中学生との連携で生まれた商品など、数多くの加工品の商品化を進めることができました。

社会インフラ整備では、県道阿南勝浦線沼江バイパス3期工事について崩落事故がありました。現在では再度工事に着工いたしております。今後も交通安全を確保するため、県道の改良や拡幅工事、豪雨災害から浸水被害や土砂災害を防ぐため勝浦川の河道掘削、砂防堰堤など、危険な箇所を県に向けて要望し、安全で安心な生活が営めるよう努めていきたいと思っております。町道においては、星谷地区念願の星谷橋改築事業に着手しましたが、事業が着実に進むよう財源の確保や効率的な事業促進を図ってまいります。

町長就任の年に1億3,000万年前の恐竜化石の含有層が発見され、県立博物館や発見者とともに記者会見したことは記憶に新しく、今も脳裏に残っております。以後、毎年恐竜化石が発見されていますが、まだ勝浦の名がつく化石発見には至っていない状況でございます。勝浦町では、恐竜フェスティバルや恐竜運動会など恐竜にちなんだ事業を展開していますが、さらに道の駅周辺の公園整備と併せた恐竜を生かした交流拠点としての整備を推進してまいりたいと思っております。

コロナ禍や物価高騰で戸惑いながらも、まちづくりは一步一步停滞することなく着

実に進められたと考えています。しかし、人口減少による過疎化の進展、少子化、高齢化による課題は広がる一方で、その上に温暖化など気候変動対策、デジタル化やAI活用などの新たな取り込まなければならない課題は数多く生じています。急速に進む人口減少は地域のコミュニティーや協働機能の低下、農業の継承や担い手の不足、少子化は教育現場や福祉施設の在り方など、今の運営体制が崩壊しかねない喫緊の問題が顕在化しています。こうした様々な課題が山積する中、令和2年度に策定した勝浦町第六次総合計画の後期基本計画を、今職員全体で懸命に策定しているところです。近いうちに議員各位にも進捗状況をご報告いたしたいと思いますが、近代化を担う人が育つ町、住み続けたい町、魅力あふれる町、そして地域力が高い町を職員と一体となって築いてまいります。町民の皆様、勝浦町がついの住みかと思いを暮らしていただける町につくり上げていきたいと決意いたしております。

3期目の出馬表明に当たっての思いを述べさせていただきましたが、住み続けたい、帰ってきたい、暮らしてみたい阿波勝浦を実現するため、引き続き広く町民の皆様の声に耳を傾け、町のかじ取り役として誰もが幸せを感じられる町を実現してまいりますので、今後ともご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

○議長（松田貴志君） 美馬議員。

○7番（美馬友子君） 今、国の施策補助事業を使っていろんな施策、それから自主財源を使っていろんな頑張ってきたことを述べてもらったことは認識しておりますが、町長は長い行政経験者でもあります。そのことを生かした職員教育ができるようにと私は応援してきたつもりでございますが、不祥事や若手の職員の離職等もあり、組織的には改善傾向にあるとは言い難いと思っております。今後は、ぜひ外部の力も借りて教育も必要かと私は考えております。目指したい町のビジョンとか、若い人を動かす将来像をもっと語ってほしかったとは思いますが、誰もが幸せを感じる町に前進あるのみだと思っております。町の住民サービスの思いが町民に届きますように、町民にありがとうと言ってもらえるまちづくりに、共に協力できるように応援したいと思っております。

以上です。

○議長（松田貴志君） 以上で7番美馬友子議員の質問は終了しました。

以上で9月会議の日程は全て終了し、本会議に付議された案件の審議は全て終了しました。

ここで、10月6日をもちまして退任されます市川教育長からご挨拶をいただきたいと思えます。

市川教育長。

○教育長（市川公雄君） ただいま議長のご配慮によりましてこのような機会をいただきましたので、一言最後のご挨拶を申し上げたいと思えます。本当に個人的な現在の私の心境を述べさせていただいて、最後のご挨拶に代えたいと思っております。

教育長を拝命いたしまして7年が過ぎようとしております。終始自分でよいのか、もっとふさわしい人がいるのではないかと、そんな思いが脳裏を離れないまま今日に至っております。そんな中、私がずっと考えておりましたのは、勝浦らしさであったり、勝浦中学校、勝中らしさとはどういうことか、そのことをずっとテーマのようにして考えてまいりました。教員時代、いろんな人から、特に教育関係の中学校や高等学校の先生方から子供のことを聞くたびに勝浦やなとか、いかにも勝浦らしい子が高校に入ってくれたなどそんな話をよく聞き、それをうまく表現できないものかと、勝浦とはこういう人間がいるって、こういう人間を育てているんだよと、そんなことをうまく表現できないかと終始考えてまいりました。

そんなとき、今回の挨拶を考えるに当たりまして、1人の教え子のエピソードを述べさせていただきたいと思えます。勝浦中学校の校長時代の、たしか2年生であったと思えますが、そのときの保護者のことでもあります。お母さんしておったんですけれども、その方が急病で亡くなり、その方のご葬儀にも参列し、そのときはその学年、たしか2年生だったと思うんですが、その2年生の学年の生徒、保護者、ほぼ全員、私もチェックしたわけではないんですが、ほぼ全員参列しておったと記憶しております。その際の喪主に当たるその亡くなった方のご主人のほうのご挨拶が今でも私の胸には響いておるんですけれども、こういう内容でございました。母親なしで未来が真っ暗になった思いでしたが、こんなに多くの方に来ていただき、少し明かりがともった思いでございますと。そういうご挨拶がございました。

その後、学校のほうは入学説明会等で参観日を兼ねており、日曜日にやっております、お弁当が必要ということでその母親と仲のよかった学年は1つ下の生徒の保護

者が、どうもそのおうちのほうに、娘の分も作るから手間は同じだからとその生徒の分もお弁当を作って、子供を通して渡していたようでありました。その母親からお弁当箱のことを言い忘れてたので伝えてというふうな連絡が私のほうにありましたので、それは私、校長が直接その子供に言うよりは担任を通してと思ひまして、担任に伝えたところ、その担任、この担任は町外の方だったんですが、いやもうザ勝浦ですね校長先生とそういう言葉があり感激しておりました。勝浦らしさとは、うまく一言で言えない部分があるんですが、そういうふうな人の思いやりでありますとか、そんな部分がふとかいま見ることができた瞬間でございました。

私ごとで勝浦らしさというのを実感したのが、令和2年、3年頃の、こちらもコロナ真ただ中のことでもございました。毎日学校のほうも遅くまで感染者が出たことへの対応で保健所や県教委からの指示待ちということで、学校自身がもう夜遅くまで待機しておって、教育委員会のほうも、ほなもう学校しまうときは連絡してよや言いながら、こちら私一人教育長室で残って書類の整理しておったりしておったんですけども、そんなときにもうそろそろ学校のほうも一区切りついたようなので帰ろうと思って出ようとしたときに、当時の福祉課の木村課長が、福祉課のほうも、それでも教育委員会より福祉課のほうが大変だったと思うんですが、そのとき福祉課長がちょっとこちらの教育委員会室のほうに寄ってこられて、もうそろそろしまいませんかやいう声をかけていただいた。それが今、本当にそのとき私はもう自分が疲れとったせいもあったと思うんですけども、心にしみる一言と後でずっと思ったときに、あ、こういうところも勝浦らしいなと、こんな中で私はずっと仕事をしよったんやなということを感じたところでもございます。

こんな勝浦らしい一言に支えられて、私、今日まで至ってきたと考えております。感謝の気持ちでいっぱいでもございます。今度は勝浦のために何らかの形で、微力ではあろうと思いますが取り組みたいと考えております。これまで本当に皆様、ありがとうございました。お世話になりました。

○議長（松田貴志君） 市川教育長、市川先生におかれましては、学校での教員生活、また教育長ということで、長年にわたって勝浦町の教育行政に多大なるご貢献をされてきましたことに対して、議会を代表して御礼を申し上げたいと思います。ありがとうございました。教員を退職され、間もなく教育長に就任。息つく暇もなく、ゆ

ゆっくりされる暇もなく、また忙しい日々に戻られたことと思います。しばらくの間はゆっくりと過ごされて、またこの勝浦町の教育をはじめとする行政全般に対して、今後ともご協力、ご支援のほうをお願い申し上げたいと思います。大変お世話になりました。お疲れさまでした。

それでは、令和7年勝浦町マラソン議会9月会議の閉会に当たり、野上町長からご挨拶をお願いいたします。

○町長（野上武典君） 閉会に当たりまして、ご挨拶を申し上げます。

本会議に提案いたしました議案につきまして、慎重にご審議をいただき、ご決議を賜りましたことに厚くお礼を申し上げます。

また、勝浦町教育長ほか2件の人事案件につきましてもご賛同のご決議をいただき、誠にありがとうございます。

市川教育長におきましては、前任の教育長が退任されてからいろいろと私も教育長人事で人選を図っているところで、市川教育長はもうお勤めでございましたが、何とかそちらのほうをご都合をつけていただき、就任していただいたのを覚えております。以後、勝浦町の教育行政に多大なるご尽力いただきまして、私からもお礼を申し上げたいというふうに思います。お疲れでございました。

議員各位には、この週末の勝浦町制施行70周年記念式典が盛大に挙行できますようご協力をお願いするとともに、今後とも町勢発展のため、格別のご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

暑さ寒さも彼岸までと申しますが、まだまだ残暑厳しい日が続きます。くれぐれも健康にご留意され、ますますご活躍されますことを心からお祈り申し上げ、閉会に当たりましてのお礼のご挨拶とさせていただきます。ありがとうございます。

○議長（松田貴志君） 以上で9月会議の日程は全て終了いたしました。

これにて散会いたします。

午前11時51分 散会

以上会議の顛末を記し相違ないことを証するためにここに署名する。

勝浦町議会議長

勝浦町議会議員

勝浦町議会議員